

労働災害再発防止対策書

【記入例2 社会福祉施設】

※ 3. 再発防止対策、5. 労働災害防止対策の水平展開については、改善前、改善後の状況がわかるように適宜写真を添付してください。

事業場	名称	社会福祉法人◎◎会 ●●●●	業種	社会福祉施設
	所在地	〇〇市△△1-2-3	労働者数	30名

被災者	氏名	◆◆◆◆	性別	男	女
	年齢	55 才	休業(見込)日数	1ヶ月	日
	傷病の部分	腰 例：(右手の親指)	勤続年数	10	年
	傷病の性質	腰痛症 (例：骨折)	経験年数	10	年

1. 災害発生状況

いつ	どこで	だれが	どんな作業をしていたときに	どのように災害が発生したか
令和2年6月10日 午前 10時00分 午後	浴室	ケアワーカーの◆◆◆◆	利用者を車いすからシャワー用の椅子に移乗させているときに	無理に利用者を抱え上げたため腰を痛めた

2. 災害発生原因 (災害の原因を調査してください)

2. 1 労働災害が発生した作業及び作業環境 (発生原因となっていないか調査してください)

作業内容及び作業環境	一人で利用者を抱きかかえる作業を繰り返し行っている
------------	---------------------------

2. 2 機械・設備に関すること (危険な状態がなかったか調査してください)

物自体の欠陥(強度不足、粗悪、老朽化等)	再発防止対策を検討する際には、 「作業自体の見直し」→「機械設備の改善」→「作業方法の改善」→ 「安全衛生管理の改善」の順に検討し本質的な安全化を図ってください。
防護措置の欠陥(カバーなし、手すりなし等)	
作業場所の欠陥(乱雑、狭い、滑り易い等)	
作業環境の欠陥(照明不足、換気不足等)	
保護具・服装の欠陥	
その他	

2. 3 人に関すること (作業のやり方に不適切がなかったか調査してください)

安全装置の不使用	複数人で対応していなかった
カバー、手すり等の取り外し	
決められた機械・工具を使わなかった	
保護具・服装の誤り	
決められた手順を行わなかった	
危険な箇所に行った・手を入れた	
機械運転中に掃除・修理・点検をした	抱え上げる状態が長く続いた
その他	

2. 4 安全衛生管理 (機械設備が危険、作業員が危険行動を行った原因を管理面から点検してください)

機械・設備導入時に安全な機械設備か検討しなかった	安全な作業手順が定められていなかった
日頃、機械設備を点検していなかった	
安全(衛生)担当者を決めていなかった	
安全(衛生)担当者が職務を行っていない	
安全な作業のやり方を決めていなかった	
作業員に作業の方法の教育を行っていない	
日頃、作業のやり方をチェックしていなかった	利用者によっては複数で対応することとしていたができなかった
その他	

3. 再発防止対策 (災害防止を検討してください)

3. 1 作業自体の見直し

(一般に危険性の高い作業については、当該作業の廃止・変更、より安全な施工方法への変更等をまず検討してください)
以下のとおり設備改善、作業改善を行う

3. 2 機械・設備の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

リフトなどの福祉機器の導入の検討を行う

3. 3 作業方法の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

利用者によっては、複数人で対応するよう申し送りをしていたが、各作業員の他の作業との調整を図り、作業ができるように徹底した
抱きかかえる時間をできるだけ短くできるように、前もって作業内容の確認をしてから、移乗作業を開始するよう周知徹底した。

3. 4 安全衛生管理の改善 (発生原因に記載した項目ごとに対策を検討してください。)

移乗作業について、腰痛防止対策の観点での作業手順を定めていなかったことから、腰痛予防を着眼点とした作業手順を定めた。
各労働者に対して、腰痛予防に関する教育を実施した

講じていただいた再発防止対策について、労働負荷やコスト等を総合的に考慮し調和がとれたものとなっているか確認願います。

4. 再発防止対策の持続性についての検討

再発防止対策の持続性(運用面コスト(費用、労力、時間)の負担許容範囲があるか、作業員が自発的に取り組むことができる内容であるか検討し、その結果を記載してください。)

福祉機器の導入は、作業性や費用を十分検討していきたい。作業手順の徹底、腰痛予防教育は、毎年機会を設けて実施をする

5. 労働災害防止対策の水平展開 (再発防止対策を講じる際に把握した事業場内の他の機械・設備や作業でのリスクに対して講じた労働災害防止対策について記載してください。)

労働災害防止対策の水平展開を行った機械・設備又は作業	労働災害防止対策の水平展開を行った機械・設備又は作業が有していたリスク	労働災害防止対策の水平展開の具体的内容
利用者の移乗作業	作業手順の周知、腰痛予防教育を行っていないので発生リスクが高い状態にあった	作業手順の周知徹底、腰痛予防教育を定期実施する

上記のとおり、労働災害再発防止対策を講じたので報告します。

令和2年7月〇〇日

□□ 労働基準監督署長 殿

担当者職氏名	施設長 ○○ ○○	TEL	0000-00-0000
--------	-----------	-----	--------------

事業者職氏名 理事長 ◎◎ ◎◎